

眠っている“脳のカ”を目覚めさせる…



ツ・ナ・ガ・ル

スキルアップ・セミナー No.3

「マインドマップ」

プロフェッショナル・マインドマップ セミナー

日時：2011年 5月29日(日) 9:00～16:00

場所：赤坂 DSビル 4F (東京メトロ青山一丁目駅下車 4 番南出口より徒歩 3 分、
乃木坂駅下車 1 または 3 番出口より徒歩 4 分)
〒107-0052 東京都港区赤坂 8-5-26 一般社団法人 ソーシャルユニバーシティ

受講料：会員 8,000 円 (昼食、ブザン協会教材費含む)
非会員 12,000 円 (昼食、ブザン協会教材費含む)
当日の年会費登録も可能です。

※季刊誌の送付など特典満載の年度会員の登録 (5,000 円) をお勧めします。

内容：患者さんとの、或いは医療従事者間のコミュニケーションは常に問題意識が高く、接遇やコミュニケーションスキルの向上の為に様々な方法論が実施されています。しかし局地的には効果があるものの、問題は一向に収まりません。

そこで思考の地図とも言われる「マインドマップ」を使って、現場レベルから問題解決を目指します。本講座は、マインドマップの基本的概念と手法を知り脳内を「見える化」することで、自身のビジョン再認識に繋がります。さらに、会話や議論の空中戦を避け、話しことばを「見える化」することで相互理解を深めるため対面での、或いはチームでのマインドマップ活用法を共有します。絆を「見える化」してチーム医療の更なる向上に貢献できれば幸いです。

主催：一般社団法人 チーム医療フォーラム <http://teamforum.or.jp/>
事務局 047-364-5121 内線 1144 (担当 本橋)
E-Mail : office@teamforum.or.jp

自然な形で脳の“カ”を引き出すことができるマインドマップ。脳が本来、備えている情報処理のプロセスを放射状にノートを取る方法で再現させることで、誰にでも思考を整理させ、記憶力を高め、そして発想力を飛躍的に高める“体験”を引き起こします。ビル・ゲイツやアル・ゴアといったグローバルリーダーをはじめ、IBM、ディズニー、BMW、ナイキなどの国際企業でも研修に活用されているこの手法。日々、迅速で正確な判断と処置を求められる臨床の現場のみならず、職場でのミーティングや医療チームのディスカッションなど、医療の分野における有効性と応用範囲の広さは確かなもの。そのノウハウと実際をブザン公認マインドマップ・フェローの山本伸氏にレクチャーしてもらおう本セミナー。医療人であれば必見の内容です！

講師プロフィール

多摩大学医療リスクマネジメントセンター フェロー
NPO 法人サイエンスコミュニケーション 理事
ブザン公認マインドマップ・フェロー



山本 伸

1972 年静岡県出身。名古屋大学にて学位 (工学) 取得後渡米しポスドク。その後産業界へキャリアチェンジ。外資系バイオ支援メーカーを経て外資系製薬企業で手術材料の開発業務と販促支援業務に従事。会社員と平行して 2006 年より NPO 活動を開始。若手系人のキャリア構築を「見える化」自己分析で支援中。2008 年より多摩大学フェローとして医療経済を研究。2010 年ブザン教育協会公認マインドマップ・フェロー講座修了。左右にペンを持ちながらのリアルタイムマッピングが得意。

講師からのメッセージ

患者さん或いはチーム間のコミュニケーション向上の他、マインドマップという「ツール」と医療の接点を探りながら、これが生かせそうな場面は多いかもしれません。主に医学教育、電子カルテ、カウンセリングツール、そして病院経営などを想定し、マインドマップや脳科学的に最適なツールや思考法により医療を変革していく可能性を議論し、情報共有を進めています (<http://www.facebook.com/medmm>)。医療に携わる皆様、患者会、学会、関連省庁の皆様どなたでも参加できます。